

脱臭剤

◆◆◆ アウトバーン・D-88 ◆◆◆

畜産家の悩みの一つに糞尿臭除去がありますが、その脱臭方法には大きく分けて二通りあります。

一つは、飼料に混合させて直接摂取させて脱臭する方法。

二つ目は、糞尿に散布して脱臭する方法があります。

糞尿の溜槽から農地還元利用・素堀地下浸透の際や堆肥および床面の脱臭に大きな効果を発揮致します。

特徴と効果

畜糞尿の脱臭に重点を置いた、このアウトバーン・D-88は硫酸鉄を主成分にし、酵母並びにそれらの培養生産物を含んでおり、微生物群は酵母を主体として酸生成の一端を担って持続性を発揮するよう、化学反応および生物反応利用の二面から構成されております。

硫酸鉄は化学反応でアンモニアと反応を起こし硫酸鉄アンモニウム塩（暗緑色を呈します）を形成したり、硫酸アンモニウム（通称、硫安）となり、鉄分は糞尿槽に発生する硫化水素と反応して硫化鉄となる。その結果糞尿は黒色を呈します。これによっても効果は見られますが、これだけでは満足できません。アウトバーン・D-88は微生物を利用した生物反応をも活用致しました。

糞尿臭というものはアンモニアや硫化水素臭だけではありません。アミン類もあれば、インドール、スカトールといった臭気も含まれます。また、低級脂肪酸やフェノール化合物に至るまで種々雑多であり、これらを分解除去するにはどうしても微生物の力が必要となります。

pHを低く抑える有機酸の生成力が高くて、芳香を放つ酵母が含まれていることにより、アンモニアや硫化水素臭の脱臭にとどまることなく、数多くの種類の糞尿臭に即効かつ持続的に効果を発揮させるような組み合わせにしました。

使用量と方法

このアウトバーン・D-88は人畜無害ですが、家畜に直接食べさせずに糞尿溜槽・堆肥に、あるいは畜舎のピット内に散布するものである。散布方法は尿のみの場合は200~500 g/m²、糞尿混合のばあいには500 g/m²を目安に水によく懸濁させて散布混合します。散布はなるべく広くすればより効果的です。

また、堆積された鶏糞や、その発酵課程で発生する悪臭物質の除去に関しては、そのもの1トンに対して、アウトバーン・D-88の300gを1.0~1.5kgの米糠あるいは麩で増量して表面に散布して下さい。

薄くて広い面積を占めているような状態では、さらに2倍程度の米糠や麩で増量して散布して下さい。自動攪拌装置を備えた発酵槽では、生糞投入時に上記希釈物を同量の割合で混入して下さい。つまり、アウトバーン・D-88に含まれている酵母の働きを促進させるために、米糠や麩で増量させることが必要なのです。そうすることによって、硫酸鉄のもっている即効性と、酵母の増殖にともなう消臭作用の両面から消臭効果が得られるのです。また、悪臭発生の程度や期待効果の程度によっては、アウトバーン・D-88の量を適宜加減して下さい。

姉妹品には、混合飼料の傑作として高い評価をいただいている〈NB-81〉および〈NB-90〉があります。これは消臭効果はもとより、継続使用の皆様から、消化率の改善、軟便対策、体質改善、産卵成績・商品化率、付加価値の高い畜産物の生産にも役立ち、多くの経済効果が得られていると高い評価をいただいております。

群馬県安中市板鼻字中川原2459-12 日本微生物化学(株)

TEL (027) 380-5040(代)・FAX (027) 382-6292

脱臭剤 アウトバーン・D-88の使用事例

アウトバーン・D-88の使用法には①原末をそのまま使う方法と②希釈剤を用いた増量法があります。増量法は堆肥や床面など散布むらが生じる恐れのある場合に行います。増量に使用する基材は米糠またはフスマが良く、3～5倍として使用してください。

牛・豚への使用

- ☆ 発酵床に使用する場合は、オガ粉を入れる時に増量したものを混ぜ込み使用するが、使用量はアウトバーンD-88として300g/m³を目安とする。
- ☆ フリーストール内に散布する場合は原末で10～15g/頭・日とし、除糞間隔により1～3日の間で周期を決める。
- ☆ バンクリーナーに散布する場合は、原末または増量したものを槽内全体に散布する。使用量はアウトバーンD-88として10～15g/頭・日とする。
- ☆ 尿溜に使用する場合には、尿1m³当たり原末300～500gを水で事前に溶解させて尿槽に入れ、簡単に攪拌する。順次新しい尿が入ってくるので3g/頭・日の割合で7～10日毎に追加する。
- ☆ 尿の土壌還元を使用する場合は、バキューム吸引時の臭気も防ぎたい時は1日以上前に、尿1m³当たり原末300～500gを水で事前に溶解させて尿槽に入れ、簡単に攪拌しておく。散布・還元時の時だけで良い場合は、尿1m³当たり原末300～500gをバケツのような容器を用いて水で事前に溶解させて先にバキューム吸引し、その後尿を吸引すれば農地まで行く間に臭気を抑える事ができる。
- ☆ 堆肥の臭気対策に使用する場合は、堆積堆肥の上に増量したものを全面に散布するが、使用量はアウトバーンD-88として100g/m³を目安とする切り返し時の臭気対策に使用する場合は、300g/m³の目安で事前に混合してから堆積させる。

鶏・ブロイラー・鶉

- ☆ 種鶏やブロイラーの床面に使用する場合は、増量したものをオガ粉を敷く前に散布する。使用量はアウトバーンD-88として200g/坪を目安とする。
- ☆ レイヤー鶏舎内の臭気対策に使用する場合は、増量したものを表面全体に散布する。使用量はアウトバーンD-88として200g/坪を目安とし、散布頻度は週1回程度とする。
- ☆ 堆肥の臭気対策に使用する場合は、堆積堆肥の上に増量したものを全面に散布するが、使用量はアウトバーンD-88として100g/m³を目安とする。切り返し時の臭気対策に使用する場合は、300g/m³の目安で事前に混合してから堆積させる。